

平成 26 年 12 月刊行

創刊号

# 街灯 が い と う

街灯は、太陽をより深く知っていただくための年に一回刊行される広報誌です。

## ■ありがとうが

言いたくて

～移動型理美容ハッピー号  
店長 本郷様インタビュー～

## ■陽のあたる坂道

グループホーム 若草物語  
有料老人ホーム 特定最前線  
デイサービス 高下和也の奮闘記

## ■教えて！料理長！

～太陽自慢の料理長  
マル秘レシピ！～

介護事業所 **太陽**

〒710-1101

岡山県倉敷市茶屋町 695-6

TEL 086-420-1400 / FAX 086-420-1402

ホームページ <http://okayama-taiyo.jp/>

ありがとうが

言いたくて

移動型理美容ハッピー号

店長 本郷辰雄 様

本郷さんはいつ資格をとられたのですか？

資格を取ったのは一年見習いをしたので、十七

歳のときですかね。

昔は資格をとるまでに学校で本科を一年学んで卒業するか、通信教育で二年間学び次にインターンとして登録し年に三回以上保健所でインターン課程の成果を報告し始めて国家資格の受験資格を得られたのです。国家試験は筆記と実技になります。実技試験は審査員のみている前で人間のモデルさんに指定されたルール通りにカットしなくてはなりません。私はあがり症なので、緊

張を和らげようと前の日にボーリングを5ゲームしてしましまして……。それがかえって逆効果で腕や足がプルプル震えていました。そうでもなくても緊張で震えているのに、本番ではバリカンの刃をポロツと落としてしまいましたよ。若かりし日の思い出です。

今はベテランの本郷さんもそんな時があったのですね。

ハッピー号は高齢者施設でお仕事をされることが多いと思うのですか？色々な施設をまわられてみていかがですか？

そうですね。こういったところがメインになりますね。

私たちはいつも普通にサービスを提供させて頂いています。その際に「いつも助かります」「無理を言ってごめんなさい」とお客様が言ってくれます。そういった言葉をかけて下さることが人と人をつなぐ仕事をしているのだなと実感できてとても嬉しい気持ちになるのです。この仕事をするまでは介護の仕事がどのようなものか全く知らなかったのですが、実際に介護士さんの仕事ぶりをみて、おむつ替えやお食事のお世話など大変だなあと感じることもできました。私はこの仕事を通じて少しでもその手助けをすることができれば

いいなあと考えています。私たちが訪問することで手軽に理容・美容を利用することができるわけですからね。その結果としてお客様だけでなく、ご家族様にも「綺麗になったね」と喜んで頂けたら嬉しいじゃないですか。お客様だけでなく周りの方も笑顔にできると本当に理美容師としては、やった！という達成感があります。

ハッピーさんにはもう長く来て頂いているので、ご利用者様も覚えておられる方が多く、楽しみにされています。高齢者の方にカットなどを行うという事で気をつけておられることはありますか？



本郷 辰雄 (ほんごうたつお)

理容師の資格をとったのは17歳のとき。個人理髪店やアートネイチャーなどを経てハッピー号の店長に。来年で40周年を迎えるベテラン理容師。自分はハサミを置いてしまったらただの人になってしまうという筋金入りの現場主義者。



移動の際に怪我をされな  
いように注意すること、  
お客様がとつさに動かれ  
ることがよくありますの  
で、はさみなどがすぐに引  
けるような態勢で行った  
り、お客様の呼吸状態など  
を観察したりして、お怪我  
をさせることがないよう  
気をつけています。

束するわけにもいきませんしね。お客様によつては  
皮膚が弱く、軽く押さえたつもりでもうっ血や剥離  
をしてしまうこともあ



りますから、職員さん  
に付き添いをお願いす  
ることもあります。本  
来なら対応しなければ  
いけないのですが、も  
しお怪我をさせてしま  
ったら お客様だけで  
なく施設の方にも迷惑  
をかけることになって  
しまいますので、そう

いった配慮を怠ることのないように、スタッフには  
いつもお願いしています。

介護もご利用者様の安全が第一です。他になに  
かスタッフの皆さんにご指導されていること

はありますか？

私たちはお客様を毎日みさせて頂いているわけでは  
ありませんから、たとえば先月落ち着いて利用して  
下さっていたAさんが今月も同じ状態であるかどう  
かはわからない訳ですから、先月は先月、今日は今  
日で状態が違うということ普通の店舗の感覚でい  
てもらっては困るので、そのことについては常に指  
示を出していますね。お客様の状態に合わせてサー  
ビス提供することが仕事になるわけですからね。

ハッピー号の方は専門職としての強い自覚を  
お持ちなのですね。介護でも共通するところが  
あり大変勉強になります。

今回の新聞は太陽の感謝が詰まった新聞にしようと  
いうテーマを掲げていて、お世話になっていらっしゃる方へ  
のインタビューを載せるにあたり、満場一致で記念  
すべき初版は、ハッピー号の本郷さんに決まりました。  
太陽の職員もハッピーさんに親しみを感じてい  
ます。  
失礼かもしれませんが、同事業所の職員同士という  
気持ちでいるのだと思います。

そう言ってもらって嬉しい限りです。私たちスタッフ  
も同じ思いでいます。

太陽さんでは、散髪が終わったあとでスタッフの皆  
さんのお客様に「綺麗になったね」「大変じゃなかっ  
た？」といった声をかけておられ、私どもスタッフ

にいつも気遣いの言葉をかけて下さるのでそれがと  
ても嬉しいですね。太陽さんに来させて頂くことを  
いつも楽しみにしています。

今後ともどうかよろしくお願いいたします。  
こちらこそありがとうございます。

本郷さんはいつも、笑顔で丁寧に職員にも利用者様  
にも接してくださいます。今回のインタビューも快  
く引き受けて下さいました。きれいを提供すること  
で、利用者様の心を豊かにして下さっているハッ  
ッピー号のスタッフの皆さんに、太陽一同感謝の気持  
ちでいっぱいです！



NPO 法人エスエヌケイ介護福祉サービス  
理美容を通して社会に貢献する  
移動理美容ハッピー号  
岡山本部 倉敷市八王子町 196-1  
TEL 086-425-1955

ちなみにこのトラックは  
普通免許で運転できるそうです。

私が担当したKさんは、平成二十五年八月三十一日に太陽へやってきました。彼女は四国出身。

体調を崩して娘さんの住む倉敷へ引っ越してこられたのでした。Kさんは、娘さんのウエディングドレス姿の写真を大事そうに部屋に飾りました。大切な娘が故郷を離れ岡山に嫁いだとき、駅まで見送りに行ってホームに「瀬戸の花嫁」が流れると、娘さんと重ねあわせ涙を流されていた、そんなとても家族思いのKさんでした。新しい倉敷での生活を楽しんでいたKさんでしたが、ある時、重い病気にかかっていることがわかりました。食事の量も減って、なかなか思うように動けなくなっていました。そんな中グループホームで個別外出の提案があり、私は考え込みました。みんなが外食の計画をたてる中、どこへ出かけよう・・・Kさんも体がしんどいのか外出に意欲を見せてはくれません。ただ、これが最後の外出のチャンスかもしれないと感じた私は、いろんなことを思い出していました。Kさんは自宅で暮らしている頃、スーパーへ出かけるのが好きで食べ物をよく買っていました。中でも卵には思い入れがあったのか、何パックも冷蔵庫に常備されていました。入所時も職員と買い物に行くたびに、パソコンコーナーから離れられないほどでした。そこで、私は「食べに行くだけが外出じゃない、いつもとは違う大きなスーパーで思いっきり買い物してもらおう」と思いつきました。体調は良かったり悪く

たり日替わりだったけど、当日は嘔気や嘔吐もなく「自分が食べるものは要らないけど、買い物には行きたい」と言ってくれたので、二人でゆめタウンへ出かけることにしました。みんなの夕飯の材料も大好きなゼリーも自分で選ばれ、会計を行い、笑顔で太陽へ帰りました。そしてやはりこれが、彼女の最後の外出となりました。私はいまでも「瀬戸の花嫁」を聞くと、坂道の途中で立ちどまりKさんを思いだします。楽しかった、あの日の外出とKさんの笑顔を思い出すのです。



グループホーム太陽には四つのモットーがあります。その一つに、「ご利用者が今何を感じているか？何を求めているか？をまず考える」という項目があります。個人個人それぞれの考え方や生活習慣は違います。お一人お一人にあったケアをするためにこのモットーを一番に掲げています。

### 特定最前線

#### 継続は力なり・・・



毎年行われる太陽の創立記念祭では、各事業所の出し物が行われています。有料老人ホームは、唯一ご利用者様による参加型出し物になっています。これがいとも大好評をいただいております。例えば今年には花咲かじいさん。ご利用者様自ら「もう少しこ

うした方が本物らしく見える」「これでええか？帽子かぶったほうがええか？」と考えてくださいます。全員参加の団結力は太陽一と言われています。この団結力はどこから生まれてくると思いますか？その秘訣は意外なところに・・・。

皆さまは、意識して続けられていることはあるでしょうか？私も禁酒、禁煙、ダイエット(?)など試みましたが、長続きしたことはありません・・・。では、どうしたら継続できるのでしょうか。私たち有料老人ホームでは、雨の日も風の日も大雪の日も欠かさず、全員参加で朝の体操を行っています。いつもラジオ体操のあとタオル体操、足を高挙する運動の三点セットで行います。毎日同じ体操です。体操自体は特段珍しいことではないのですが、高齢者にとつては一日一日の積み重ねが今を維持することにつながります。ご利用の皆様と一緒に暮らす仲間として、一日一回は顔を合わせ、また、一人では続けられない事も、励ましあって続けていける。この取り組みをすることで、基本はお一人お一人の生活が中心になっていますが、家族のような仲間がいるという事はとても大切であることを感じていきます。長くゆるやかな坂道も仲間と共に助け合えば前進できます。今では、みなさん体操が始まる時間前に自主的に集合されています。欠



席者がいるときには「あの人はまだ出てきてないなあ・・・」と心配される一面も。こんな 日々の積み重ねが太陽一の団結力を生み出しています！来年の出し物は何にするかな？

### 新米職員 高下和也の奮闘記



デイサービスは今年「気持ちと声にこたえるデイサービス」というテーマを決めました。太陽に入って三年目の高下和也が、気持ちと声にこたえられた瞬間をレポートします！

Aさんは、太陽での過ごし方をご自分で決められています。もともとスポーツやパズルなどが好きで、午前中のリハビリはご自分の計画に沿って行われています。午後からは他の方が集団レクリエーションをしている横で、クロスワードやナンプレをされています。けれども私たちは必ずゲームに誘う声かけをしています。今では、いつでもゲームに参加できるように近くで観戦しながら、パズルも楽しまれています。さらに行事などにも参加されています。文化祭では職員への感謝の手紙を書いていたいただきました。創立記念で歌を歌って盛り上げてくださったこともありました。脳梗塞の後遺症で言語障害のある方ですが、ご自分のスケジュールを柔軟に変更して下さって私たちの提案にも快くこたえてくださっています。太陽での過ごし方をご自分で決められることは、私たちにとっても大変うれしいことです。そのスケジュールを途中でさえぎることは、考え方によ

## 陽のあたる坂道

～つらく苦しい坂道にもあたたかい陽がふりそそぐ～

つてはいけないことかもしれません。けれども太陽では、一人になっている利用者様をみかけたら必ず声をかけるようにしています。同じ太陽に集まる仲間同士、孤立しないようにするためです。さらに「本当は興味のあるゲームだけど、いつも自分は、自分のスケジュールで動いているから、今日だけの参加は無理かな・・・？」と心の中では、感じておられるかもしれないからです。(そうか！これが声にこたえる、どんな心の声も聞きもらさないということなのか！いやいや、ご本人はどう感じておられるのか・・・？そうだ！思い切って聞いてみよう！)

高下：太陽はどうですか？

Aさん：最高です！好きなことができるのが良いです。

高下：ゲームや体操に誘われることはどうですか？  
Aさん：右側に麻痺があります。ゲームは左手を使う良い練習になると思って「これはできそうかな？」とみんながしている様子を観て参加するようにしています。

高下：何かやってみたいことがありますか？

Aさん：右手を動かすことも必要と作業療法士の先生に言われたので、ダーツのようなゲームをやってみたいです。

高下：よしっ！今度ぜひ、やってみましょう。

Aさんの本当の声を聞くことができました。いつまでも最高！と思っていただけにこれからも、レポートを通して学んでいきたいと思えます。まだまだ坂道は続く、がんばるぞ！



# 教えて料理長! 山上シェフの

太陽は、食事がおいしいと大評判！給食の管理者白石さんは、太陽で出す食事のモットーは？と尋ねると『おいしい！お腹いっぱい！』と笑って答えてくれます。

そのためには、まず心をこめて調理すること、そして一食一食を集団給食として考えず お一人お一人の食事 すなわち個人食と考えて丁寧に調理することに努めていらつしやるそうです。

確かに、ご利用者さんの半数以上が、禁食 食事形態何らかの食札がついています。これ 全部覚えていられるのですか？と尋ねると、毎日のことなので大体覚えていきますとの返事が！（スゴイ！！）このような、細やかな配慮が 大好評の秘密だったんですね！

そんな太陽の台所から、好評メニューレシピをご紹介させて頂くコーナーを作ってみました。題して「教えて！料理長！」

太陽屈指の料理人、山上シェフのマル秘レシピを大公開しちゃいます。どうぞ皆様今晚のお夕食にいかがでしょうか？



エビフライのタルタル丼 (H26 9月12日)

他 ほうれん草の胡麻和え フルーツ コンソメスープ

**材料 (4人分)**

タルタルソース  
ゆでたまご 2個  
玉ねぎ 1/4  
マヨネーズ 100g  
塩 こしょう お好み


甘だれ  
だし汁 50cc  
みりん 50cc  
薄口しょうゆ 30cc

エビフライ 8尾  
パセリ 適量

**作り方**

- 1、ゆで卵 玉ねぎをみじん切りにします。
- 2、1とマヨネーズを混ぜるだけ！お好みで 塩 こしょうを加えてください。
- 3、どんぶりにご飯を適量 盛り付けます。
- 4、甘だれをご飯の上に少量かけます⇒隠し味程度に少しかけるのがポイント！
- 5、ご飯の上にエビフライを2尾のせてタルタルソースをかけます。
- 6、最後にパセリを添えて出来上がり。

**出来上がり！**



## 編集後記

年刊誌「街灯」はいかがでしたか？ 今回記事を書くことが決まってから、テーマの選定や内容の決定に非常に苦労しました。普段文章を書くような機会がなかなか、ありませんので言葉が満足に出て来ず、久しぶりに辞書のお世話になりながら書き上げました。ところが完成後も編集長より訂正の指示が次々に入り、その都度試行錯誤しながら何とか完成させました。分かりにくい箇所や読みにくい部分が多いとは思いますがお楽しみ頂ければ幸いです。

太陽広報委員一同

研本 彰子  
高下 和也  
守谷 恵  
守分 政裕